

MATERIALITY

野村グループ経営の重要課題

ステークホルダーの声に耳を傾け、社会課題の解決を通じた持続的成長を実現

豊かな自然環境と健やかな社会環境は、経済やビジネスの発展、人々の暮らしにとっての基盤であり、「真に豊かな社会の創造に貢献する」という野村グループの社会的使命もまた、この基盤なくしては成しえません。私たちは、地球環境の保全や多様な人々の活躍の推進といった取り組みが経済活動や社会の維持と発展に不可欠であることを認識しながら、商品やサービスを広げ、グローバル展開やコーポレート・ガバナンスの強化を進めてきました。

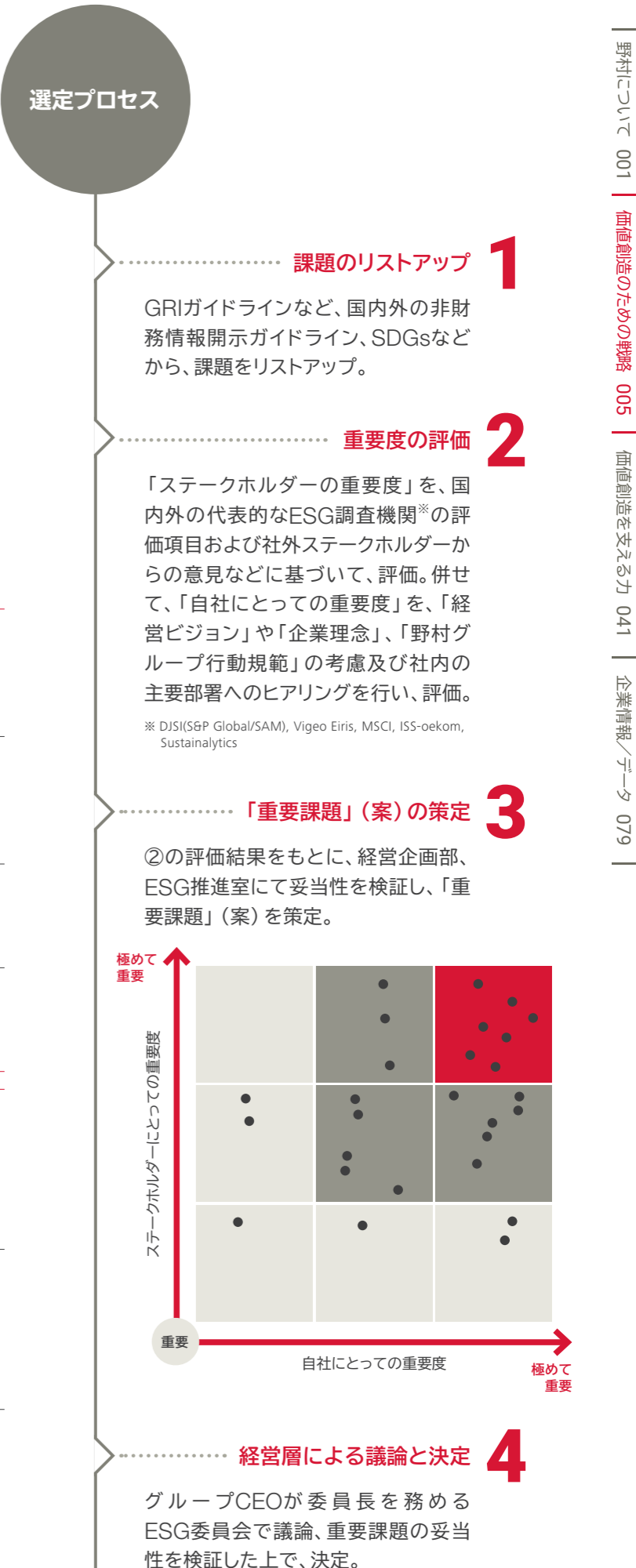
2020年5月には、創立100周年にあたる2025年に向けて、新たな経営ビジョン「社会課題の解決を通じて持続的な成長を実現すること」を設定しました。「ビジネスの成長」に加え、「社会からの信頼」や「社員の満足」というESGの要素を掛け合わせ、相乗効果を生み出すことにより、社会課題の解決を通じた持続的成長を実現してまいります。

取り組むべき最重要課題

野村グループにおいては、CSRのマテリアリティを2008年より策定/公表して以来、国際社会やステークホルダーの声に耳を傾けながら、改定を重ねてきました。今回、2020年5月に発表した経営ビジョンをふまえて見直しを行い、全体で27の重要課題および、私たちが特に取り組むべき7つの最重要課題を特定しました。引き続き、関連項目を用いながら、進捗を把握し、目指すべき姿に向けて取り組みを進めていきます。

重要課題(マテリアリティ)
<https://www.nomuraholdings.com/jp/csr/group/issues.html>

最重要課題	関連項目	目指す姿	SDGsへの貢献*
持続的成長に向けた施策 持続可能な社会の創造に資する金融サービスの提供	■ サステナブル・ファイナンス 関与金額 ■ サステナブル投資比率	ステークホルダーの声に真摯に耳を傾け、本業を通じて、付加価値の高い課題解決策の提供を行い、企業理念を実現していきます	
	■ 多様なデジタル・デリバリーの拡充	常に変化し続けるビジネス環境に適応するためには、業務変革を続けることが不可欠です。デジタルを活用することで顧客サービスの質と量を向上し、高い生産性を表現していきます	
	■ オーダーメイド商品の提供 ■ 新たな投資家層・ニーズへの対応	オルタナティブ商品の拡充や新たな顧客ニーズの掘り起こしなど、プライベート領域のビジネスを拡大することで、中長期的な成長を目指します。また、各ビジネスの収益性を勘案しつつビジネス・ポートフォリオの最適化を行っていきます	
	■ リソースの最適配分 ■ ROE		
持続的成長に向けた基盤 行動規範の浸透	■ 行動規範の浸透状況	企業価値の向上を目指すうえで、コーポレート・ガバナンスは最重要課題のひとつであり体制の強化、充実に取り組んでいきます。また、法令遵守の徹底および社員の規範意識の向上に取り組み、社会との信頼構築、企業価値の保護と向上につなげます	
	■ 財務指標のモニタリング	財務の健全性と企業価値の向上には、様々なリスクの適切な管理が不可欠です。グローバルで統合的にモニタリングや報告を行うリスク管理体制を構築していきます	
	■ 従業員サーベイ	イノベーションやデジタル化等、環境変化において多様で優秀な人材は、最大の「財産」です。社員が能力や個性を発揮し、活躍できるよう取り組み、付加価値の高いサービスを提供していきます	



*SDGsのロゴは最重要課題のみならず、重要課題の全項目に対するものです。最重要課題の全項目は野村ホールディングスのWebサイトをご覧ください。